



## 平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三ツ知

コード番号 3439 URL <http://www.mitsuchi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村瀬 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 樋口 哲也

TEL 052-798-1126

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	3,526	0.5	158	△30.3	210	△16.3	170	69.3
27年6月期第1四半期	3,510	4.3	227	90.1	251	103.8	101	21.9

(注)包括利益 28年6月期第1四半期 133百万円 (74.3%) 27年6月期第1四半期 76百万円 (△28.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	67.53	—
27年6月期第1四半期	39.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	15,348	7,710	50.2
27年6月期	14,194	7,691	54.2

(参考)自己資本 28年6月期第1四半期 7,710百万円 27年6月期 7,691百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	15.00	—	45.00	60.00
28年6月期	—				
28年6月期(予想)		30.00	—	40.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,928	△0.4	423	△2.2	422	△15.8	307	22.1	121.34
通期	13,934	1.7	879	18.6	912	6.5	675	30.9	266.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期1Q	2,652,020 株	27年6月期	2,652,020 株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	120,166 株	27年6月期	120,131 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期1Q	2,531,883 株	27年6月期1Q	2,529,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等が様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 販売実績の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や個人消費の回復を背景に、企業収益や個人所得に若干の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら、アメリカでの利上げ観測や、中国を中心としたアジア新興国経済の成長鈍化による景気の下振れ等により、国内景気を下押しするリスクもあり、先行き不透明な状況となっております。

当社グループの主要得意先であります自動車部品業界におきましては、北米では堅調に推移いたしました。日本国内においては、軽自動車税の増税の影響により販売は減少し、タイ・中国などの新興国につきましても景気減速の影響等により、製造・販売ともに減少傾向となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは対処すべき課題であります①コーポレートガバナンスの強化、②品質向上に資する品質管理体制強化、③海外子会社の管理体制強化、④海外人財の育成・強化、に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高につきましては、日本国内では減収となるものの、北米及び中国での売上増加等により、売上高は35億26百万円（前年同期比0.5%増）となりました。一方利益面につきましては、グループ全社を挙げての原価低減活動を行ったものの、製造原価の増加等により、営業利益は1億58百万円（前年同期比30.3%減）となりました。また、経常利益は2億10百万円（前年同期比16.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億70百万円（前年同期比69.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

軽自動車税の増税等により、国内生産は減少傾向にあり、売上高は26億84百万円（前年同期比6.9%減）となりました。一方利益面につきましては、減収による売上総利益の減少及び諸経費の増加等により、営業利益は24百万円（前年同期比82.0%減）となりました。

#### ②米国

新規製品の受注増加等により、売上高は3億10百万円（前年同期比44.4%増）となりました。一方利益面につきましては、受注増加による売上総利益の増加及び経費削減効果等により、営業利益は32百万円（前年同期比147.8%増）となりました。

#### ③タイ

景気減退の影響によるタイ国内生産の減少の影響はあるものの堅調に推移し、売上高は5億89百万円（前年同期比0.7%増）となりました。一方利益面につきましても、原価低減活動等により、営業利益は44百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

#### ④中国

日系自動車メーカーの販売台数増加に伴う新規受注の増加等により、売上高は1億37百万円（前年同期比114.2%増）となりました。一方利益面につきましても、主に増収要因により、営業利益は14百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億54百万円増加し、153億48百万円となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の増加により、前連結会計年度末に比べ10億59百万円増加し、98億61百万円となりました。また、固定資産については、のれんの減少等ありましたが、リース資産の増加等により前連結会計年度末に比べ94百万円増加し、54億87百万円となりました。

負債の部では、流動負債が短期借入金の増加、賞与引当金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6億31百万円増加し、46億15百万円となりました。また、固定負債については、社債の増加、長期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ5億2百万円増加し、30億23百万円となりました。

純資産の部では、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の減少がありましたが、利益剰余金の増加により、77億10百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.2%から50.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11億24百万円増加し、40億66百万円（前年同期比40.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2億10百万円、減価償却費1億7百万円、たな卸資産の増加額1億10百万円、賞与引当金の増加額75百万円等による資金増があり、一方で仕入債務の減少額91百万円、未払金の減少額71百万円、法人税等の支払額43百万円等による資金減により、1億96百万円の収入（前年同期比125.0%増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入63百万円等の資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出1億36百万円等による資金減により、52百万円の支出（前年同期比47.3%減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額5億36百万円、長期借入れによる収入3億円、社債の発行による収入4億92百万円の資金増があり、一方で配当金の支払額1億10百万円、長期借入金の返済による支出1億80百万円及び社債の償還による支出21百万円等による資金減により、9億89百万円の収入（前年同期は1億58百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年7月31日に公表いたしました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時

点から将来にわたって適用しております。なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法につきましては、主として定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、当期において、事業計画のもと、顧客及び顧客ニーズの多様化や加工の内製化等の国内生産体制の見直しのため、国内において設備投資が増加することを契機に、有形固定資産の減価償却方法を検討したものであります。その結果、今後の有形固定資産の使用は長期的かつ安定的な利用が見込まれ、国内においても定額法が有形固定資産の使用実態により即しており、経営管理の精度を高め、当社グループの実態をより適切に反映すると判断したものであります。

この結果、従来の方法に比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,049千円増加しております。

なお、セグメントに与える影響につきましては、セグメント情報等に記載しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,135,009	4,214,721
受取手形及び売掛金	3,012,157	3,007,135
たな卸資産	2,322,651	2,207,269
その他	336,595	436,551
貸倒引当金	△4,821	△4,613
流動資産合計	8,801,591	9,861,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	728,660	715,999
機械装置及び運搬具(純額)	1,221,254	1,295,917
土地	2,150,081	2,149,509
リース資産(純額)	56,170	149,418
建設仮勘定	214,631	239,257
その他(純額)	146,158	132,645
有形固定資産合計	4,516,957	4,682,747
無形固定資産		
のれん	305,052	283,263
その他	68,342	68,917
無形固定資産合計	373,394	352,180
投資その他の資産		
投資有価証券	211,856	175,485
その他	304,916	291,341
貸倒引当金	△13,871	△13,871
投資その他の資産合計	502,901	452,955
固定資産合計	5,393,254	5,487,882
資産合計	14,194,845	15,348,947

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,162,113	2,092,335
短期借入金	351,500	880,635
1年内償還予定の社債	42,000	112,000
1年内返済予定の長期借入金	687,991	745,974
リース債務	108,150	119,621
未払法人税等	41,456	96,513
賞与引当金	17,873	93,820
役員賞与引当金	10,540	2,553
その他	561,518	471,641
流動負債合計	3,983,144	4,615,094
固定負債		
社債	132,000	541,000
長期借入金	1,885,934	1,948,928
リース債務	296,537	349,879
役員退職慰労引当金	50,309	48,741
退職給付に係る負債	22,495	23,705
その他	132,809	110,777
固定負債合計	2,520,086	3,023,033
負債合計	6,503,230	7,638,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	6,257,611	6,314,662
自己株式	△133,298	△133,361
株主資本合計	7,134,643	7,191,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,962	12,080
為替換算調整勘定	518,008	507,107
その他の包括利益累計額合計	556,970	519,187
純資産合計	7,691,614	7,710,819
負債純資産合計	14,194,845	15,348,947



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,510,650	3,526,589
売上原価	2,847,101	2,893,249
売上総利益	663,549	633,339
販売費及び一般管理費	436,096	474,801
営業利益	227,452	158,538
営業外収益		
受取利息	702	1,320
受取配当金	323	490
為替差益	7,541	—
固定資産売却益	2,862	48,021
その他	30,999	32,420
営業外収益合計	42,429	82,252
営業外費用		
支払利息	16,330	14,504
社債発行費	—	7,289
為替差損	—	3,621
その他	2,176	5,099
営業外費用合計	18,507	30,514
経常利益	251,374	210,276
特別利益		
保険解約返戻金	53,248	—
特別利益合計	53,248	—
特別損失		
役員退職慰労金	222,528	—
特別損失合計	222,528	—
税金等調整前四半期純利益	82,095	210,276
法人税、住民税及び事業税	35,977	89,671
法人税等調整額	△54,897	△50,379
法人税等合計	△18,919	39,291
四半期純利益	101,014	170,985
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,014	170,985

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	101,014	170,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,477	△26,882
為替換算調整勘定	△36,064	△10,900
その他の包括利益合計	△24,586	△37,782
四半期包括利益	76,428	133,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,428	133,202
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	82,095	210,276
減価償却費	114,188	107,177
のれん償却額	21,789	21,789
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△65	△109
賞与引当金の増減額(△は減少)	75,888	75,946
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,957	△7,987
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,116	1,468
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△69,775	△1,567
固定資産売却損益(△は益)	△2,629	△44,843
受取利息及び受取配当金	△1,026	△1,811
保険解約損益(△は益)	△53,248	—
支払利息	16,330	14,504
役員退職慰労金	222,528	—
売上債権の増減額(△は増加)	△39,921	380
たな卸資産の増減額(△は増加)	24,376	110,856
未収入金の増減額(△は増加)	21,003	△64,250
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,349	△91,976
未払金の増減額(△は減少)	△17,636	△71,190
未払費用の増減額(△は減少)	△15,966	△6,523
その他	39,855	815
小計	396,595	252,955
利息及び配当金の受取額	1,023	1,811
利息の支払額	△16,951	△14,262
役員退職慰労金の支払額	△222,528	—
法人税等の支払額	△70,642	△43,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,497	196,878
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△18,000	△18,000
定期預金の払戻による収入	24,000	63,120
有形固定資産の取得による支出	△97,335	△136,230
有形固定資産の売却による収入	4,317	62,591
投資有価証券の取得による支出	△1,511	△1,587
その他	△10,281	△21,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,810	△52,038
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	200,000	536,399
長期借入れによる収入	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△237,416	△180,040
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△27,131	△28,364
社債の発行による収入	—	492,710
社債の償還による支出	△121,000	△21,000
自己株式の取得による支出	—	△62
配当金の支払額	△72,496	△110,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,045	989,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,757	△9,904
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△181,115	1,124,177
現金及び現金同等物の期首残高	3,082,818	2,942,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,901,703	4,066,599

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,675,867	215,017	558,575	61,189	3,510,650
セグメント間の内部売上高 又は振替高	206,822	—	26,848	3,184	236,855
計	2,882,690	215,017	585,423	64,373	3,747,505
セグメント利益又は損失(△)	135,176	13,066	44,217	△8,274	184,186

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	184,186
セグメント間取引消去	43,266
四半期連結損益計算書の営業利益	227,452

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,516,351	309,616	563,273	137,347	3,526,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	168,060	945	26,263	563	195,834
計	2,684,412	310,561	589,537	137,911	3,722,423
セグメント利益	24,353	32,375	44,278	14,648	115,655

## 2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	115,655
セグメント間取引消去	42,882
四半期連結損益計算書の営業利益	158,538

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の償却方法の変更)

(会計方針の変更)に記載のとおり、日本セグメントであります当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法につきましては、主として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、日本セグメントにおける当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は17,049千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 販売実績の状況

当第1四半期連結累計期間における販売実績を用途品目別に示すと、次のとおりであります。

用途品目		前第1四半期 連結累計期間 (千円)	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)	前連結会計年度 (千円)
自動車用部品	シート用部品	1,364,077	1,460,516	107.1	5,492,822
	ウインドウレグレーター用部品	346,192	348,372	100.6	1,368,770
	ロック用部品	187,251	171,708	91.7	727,297
	エンジン用部品	547,749	485,808	88.7	2,084,982
	足回り用部品	540,749	392,728	72.6	1,945,608
	その他	289,232	345,113	119.3	1,216,346
	小計	3,275,252	3,204,248	97.8	12,835,828
その他		235,398	322,340	136.9	867,756
合計		3,510,650	3,526,589	100.5	13,703,584

(注) 1 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		(参考) 前連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
シロキ工業株式会社	731,857	20.8	701,311	19.9	2,835,897	20.7%